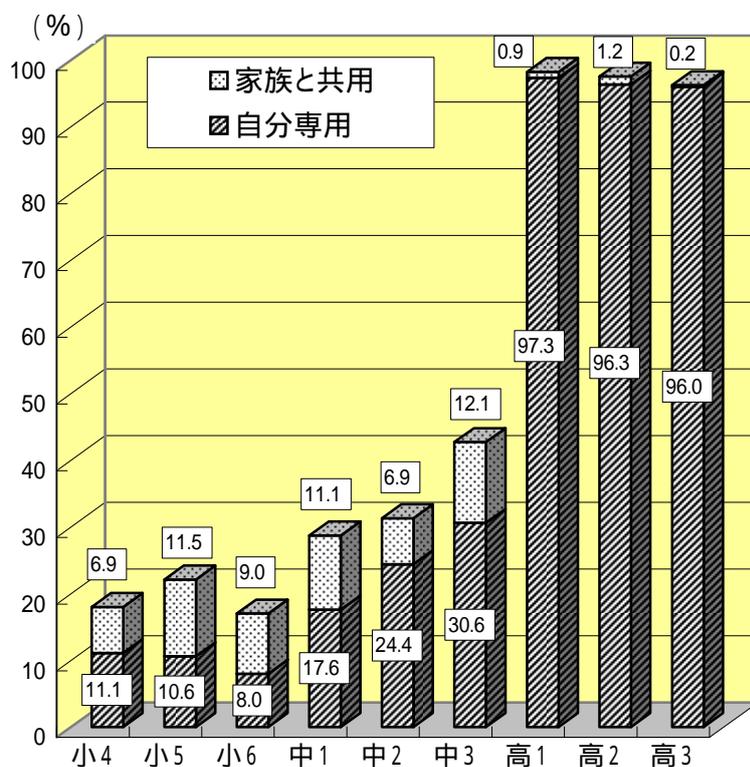


「携帯電話についてのアンケート結果」について

教学指導課心の支援室

調査の目的	児童生徒の携帯電話の利用の実態を把握し、指導の参考に資するため
調査対象及び抽出校	小学校8校(656名)、中学校10校(916名)、高等学校12校(1,282名) 計30校(2,854名) 小学校(4・5・6年生) 中学校・高等学校(全学年) 小学4年生は、今回より調査対象に加えた。
調査時期	平成20年 10月

1 携帯電話の所持



「自分専用」の携帯電話を持つ者の割合は、小学6年生から中学1年生で約2倍、中学3年生から高校1年生で約3倍に増える。

「家族と共用」で使用している者は、高校生になると減少する。

16、18年度調査と比較すると、小学生、中学生、高校生いずれも所有率に大きな変化はない。

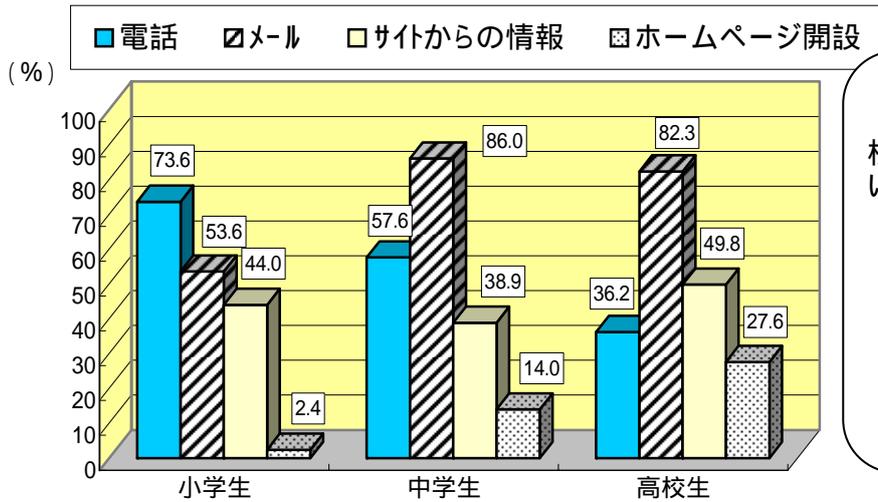
		(単位: %)								
		小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
平成20年度の所持率	自分専用携帯を所有	11.1	10.6	8.0	17.6	24.4	30.6	97.3	96.3	96.0
	家族と共用	6.9	11.5	9.0	11.1	6.9	12.1	0.9	1.2	0.2
	計	18.0	22.1	17.0	28.7	31.3	42.7	98.2	97.5	96.2
平成18年度の所持率			16.4	20.4	24.4	33.5	42.0	97.1	97.6	98.0
平成16年度の所持率			20.8		41.0		96.6			

(参考)

(単位: %)

平成20年度 全国学力調査生活実態より		
	小学6年生	中学3年生
	長野県	19.1
全国	31.6	61.9

2 よく使用する機能(複数回答)

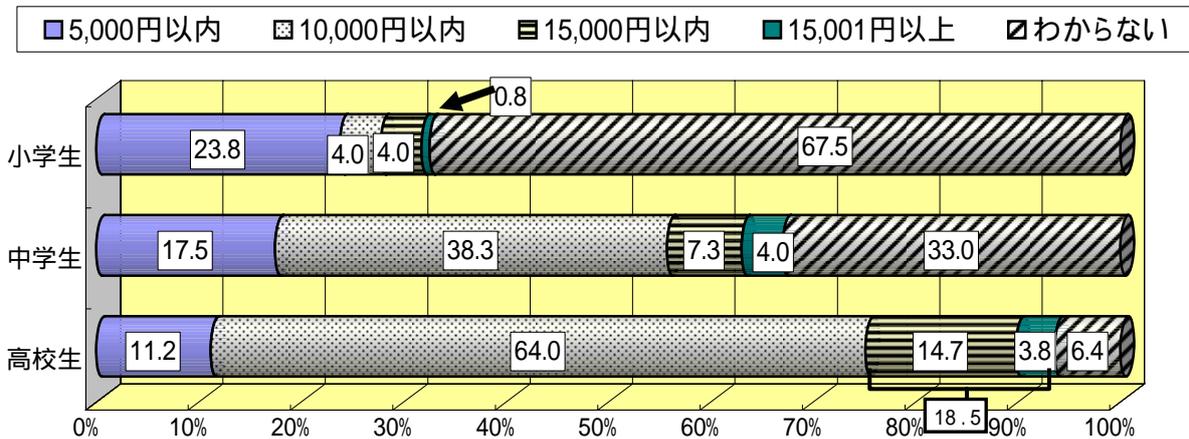


小学生は「電話」、中学生、高校生は、「メール」の利用が多い。

注: 「サイトからの情報」とは、ゲーム、音楽配信

注: 「ホームページ開設」とは、チャットやブログ、プロフの作成

3 1ヶ月あたりの使用料金

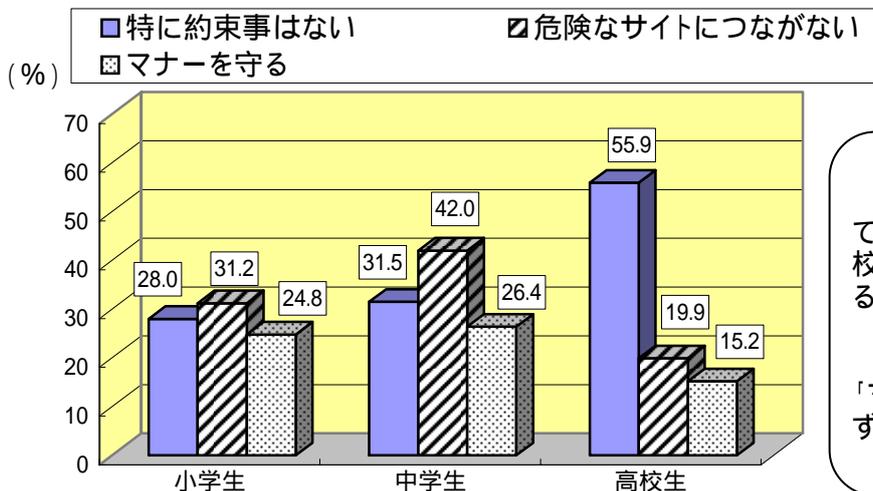


小学生は、「5,000円以内」、中学生、高校生は「10,000円以内」が多い。

金額が「わからない」者が、小学生で2/3、中学生で1/3程度見られる。

高校生は、「10,000円」を超える生徒が18.5%になる。

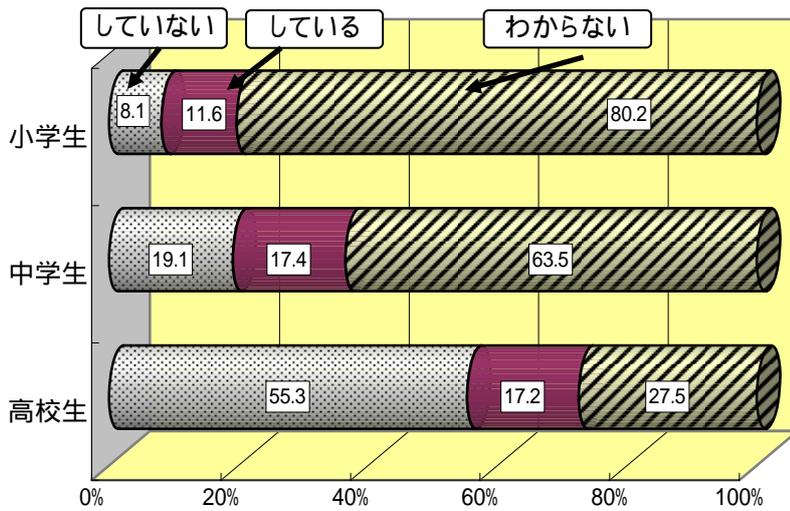
4 保護者とのケータイ使用にあたっての約束事(複数回答)



「特に約束事はない」については、小学生から、中学生、高校生と上がるにつれて増加する。

「危険なサイトにつながない」「マナーを守る」については、いずれも中学生が高い。

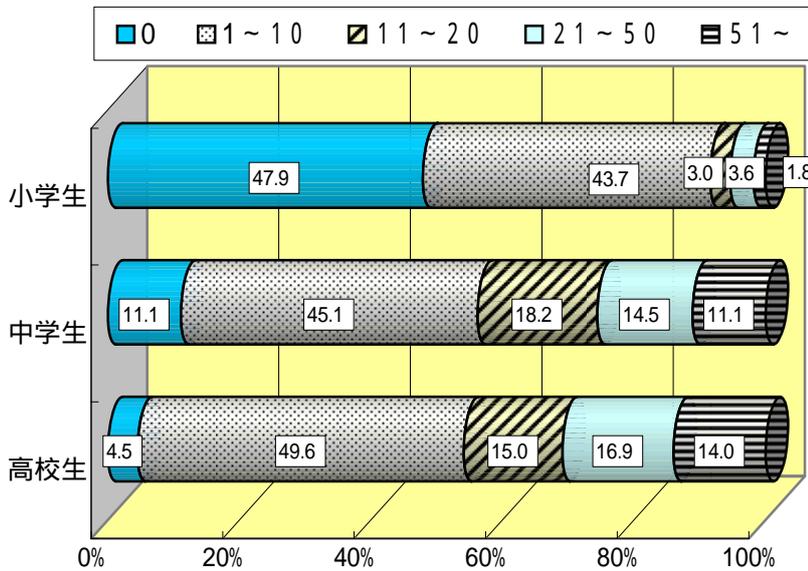
5 フィルタリングの機能の使用



「フィルタリング」を利用しているは、小学生、中学生、高校生いずれも20%を下回る。

「わからない」が小学生、中学生では多い。

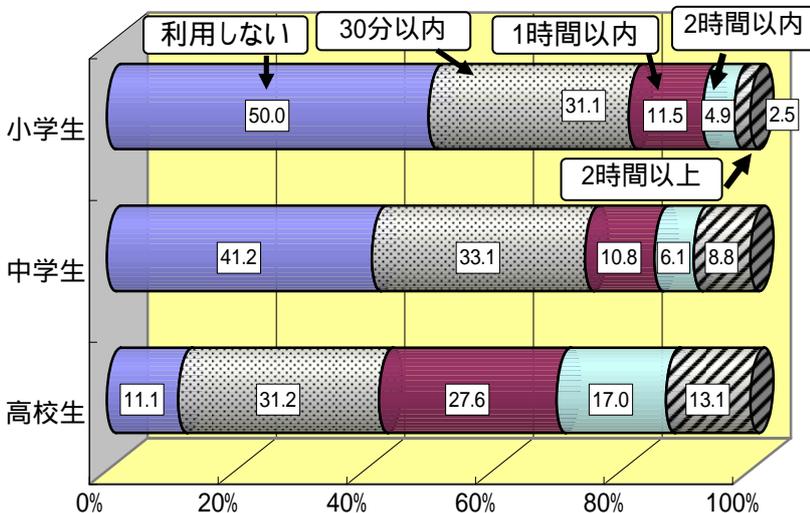
6 1日のメールの利用(送信回数)



メールを「していない」割合は小学生が多く、中学生、高校生と順に少なくなっている。

「51通以上」は中学生で11.1% 高校生では14.0%になる。

7 携帯でのインターネットの利用時間

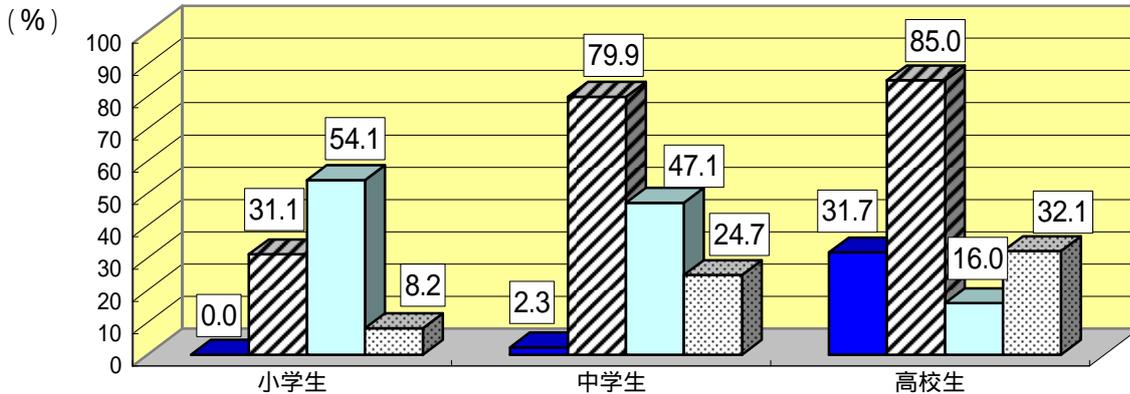


「利用しない」が小学生は半数あり、中学生は約40%である。

「30分以内」は小学生から高校生までいずれの段階でも30%程度である。

8 携帯でインターネットを利用する主な時間帯(複数回答)

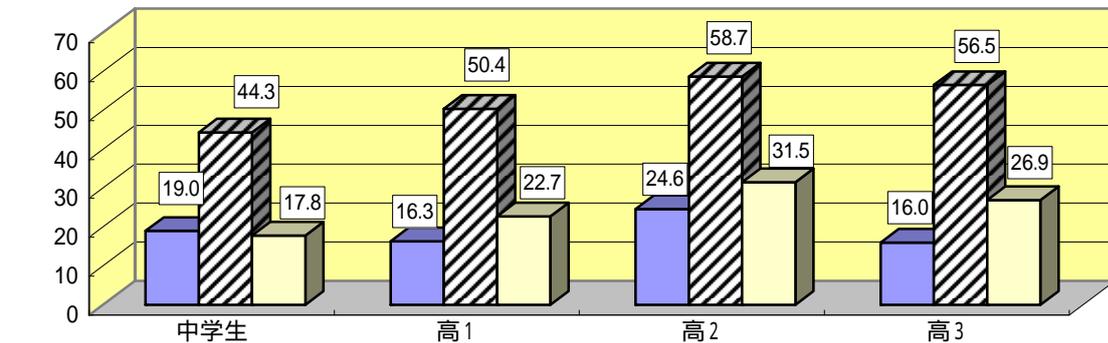
■学校で休み時間 □自宅で一人で過ごす時間 □自宅で家族と過ごす時間 □深夜



小学生は「自宅で家族と過ごす時間」が最も多い。
 中学生、高校生は、「自宅で一人で過ごす時間」が最も多い。
 中学生で約4人に1人、高校生で約3人に1人は「深夜」に使用している。

9 携帯サイトの利用(複数回答)

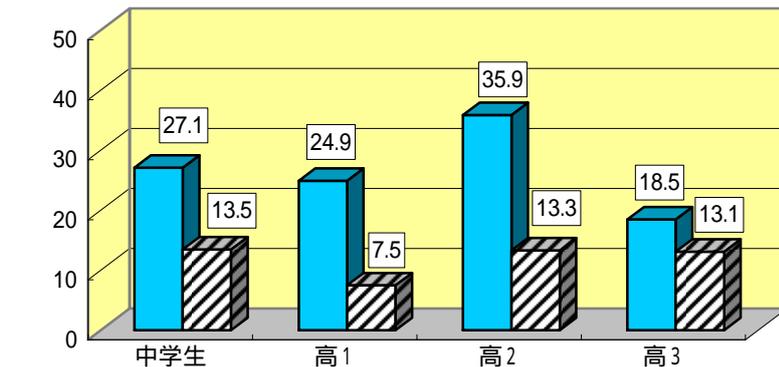
■ネットゲームへ参加 □ブログ・プロフを見る □ブログ・プロフを開設する



どの年代においても「ブログ・プロフを見る」は多い。
 「ネットゲームへ参加」、「ブログ・プロフを見る」、「ブログ・プロフを開設する」いずれも、
 高校2年生の時に最も多い。

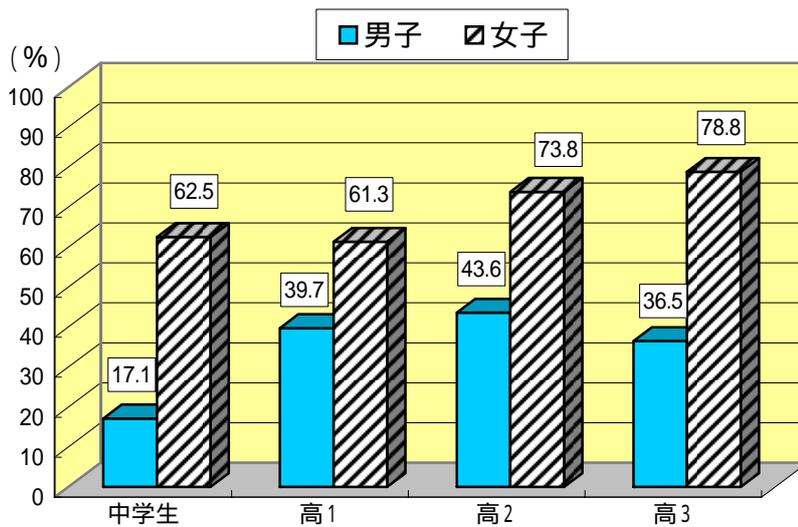
9 - a ネットゲームへの参加[中学生以上、男女別]

■男子 □女子



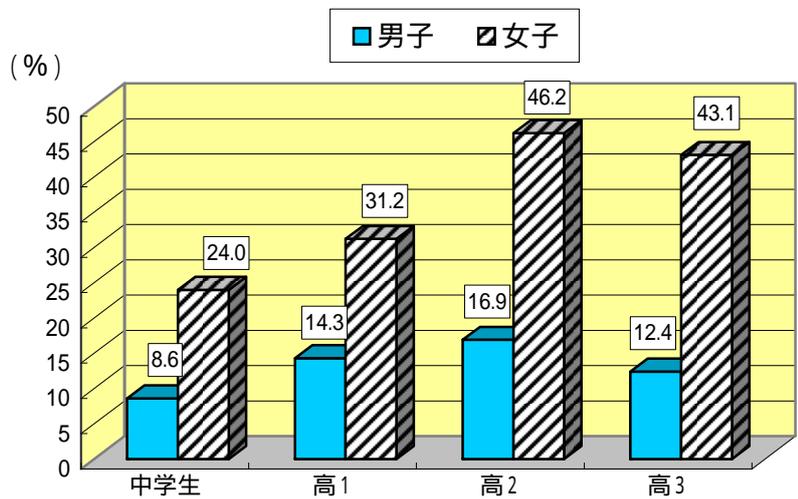
男子はどの年代においても女子を上回っている。

9-b ブログ・プロフを見る[中学生以上、男女別]



女子はどの年代においても、男子を上回っている。

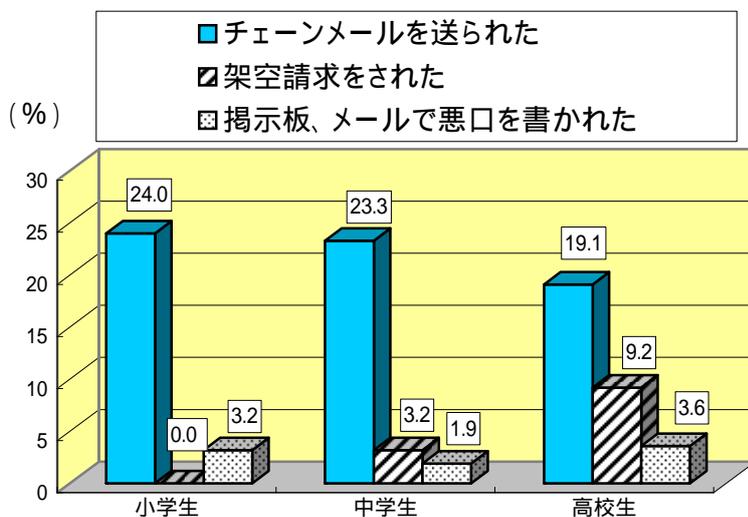
9-c ブログ・プロフの開設[中学生以上、男女別]



女子はどの年代においても、男子を上回っている。

男女ともに高校2年生の 때가最も多い。

10 メール・携帯での嫌な思い(複数回答)



「チェーンメールを送られた」で嫌な思いをした者が、いずれの校種においても多い。

中学生、高校生となるにつれて、「架空請求をされた」が増加する。